

【0124】AFL+FOLFIRI 療法

【投与スケジュール】1 コース = 14 日

1 コース

一般名	商品名	略号	投与量	1W	2W	3W
アフリベルセプト ベータ	ザルトラップ	AFL	4mg/kg	↓ Day1		↓ Day1
イリノテカン	イリノテカン	IRI、CPT-11	150mg/m ²	↓ Day1		↓ Day1
レボホリナート	レボホリナート	I-LV	200mg/m ²	↓ Day1		↓ Day1
フルオロウラシル	フルオロウラシル	5-FU	400 mg/m ²	↓ Day1		↓ Day1
フルオロウラシル	フルオロウラシル	5-FU	2400 mg/m ²	↓ Day1		↓ Day1

【投与日のタイムテーブル】

滴下順	薬品名	用量	投与時間
Day1			
①	生食注シリンジ 10mL	1 本	
②	ザルトラップ	4mg/kg	60 分
	生理食塩液 100mL	1 本	
③	グラニセロンバッグ(3mg/100mL)	1V	30 分
	デカドロン(3.3mg/1mL)	3 本	
④	イリノテカン	150mg/m ²	(同時に) 2 時間
	生理食塩液 250mL	1 本	
④	レボホリナート	200mg/m ²	
	生理食塩液 250mL	1 本	
⑤	フルオロウラシル	400mg/m ²	全開で
	生理食塩液 50mL	1 本	
⑥	フルオロウラシル	2400mg/m ²	46 時間
	生理食塩液	(※1)	
⑦	生食注シリンジ 10mL	1 本	フラッシュ

(※1) 外来インヒューザーポンプ使用時は、生食の液量を調整、入院で使用しない場合は生食 500mL バッグで調製

<ザルトラップ>

0.2ミクロンのポリエーテルスルホン製フィルターを用いて投与すること
(ポリフッ化ビニリデン(PVDF)製又はナイロン製のフィルターは使用しないこと)

催吐性	中等度リスク
組織傷害性	ザルトラップ: 非炎症性(メーカー回答) イリノテカン: 炎症性 フルオロウラシル: 炎症性
代表的副作用	ザルトラップ 高血圧、高血圧クリーゼ、蛋白尿、ネフローゼ症候群、出血、動脈血栓塞栓症、静脈血栓塞栓症、血栓性微小血管症、消化管穿孔、創傷治癒遅延、可逆性後白質脳症症候群 イリノテカン >10%・・・骨髄抑制、下痢、悪心、嘔吐、食欲不振 <1%・・・間質性肺炎 フルオロウラシル >10%・・・食欲不振、下痢、口内炎、骨髄抑制 頻度不明・・・心筋虚血、白質脳症

【注意事項】

(イリノテカン)

□ UGT1A1 遺伝子多型検査時には、院内規定の説明文書・同意書を使用する

レジメン登録承認	2017年10月24日 化学療法委員会
参考資料	<i>Eric Van Cutsem et al, J Clin Oncol 30(28):3499-3506,2012</i>